

| 就業力プログラム | | 履修年次 | 4 |
|---|---|------|--------|
| | | 単位 | 2 |
| 中村 知子、荒井 明、岩井 善弘、江崎 和夫、大神 賢一郎、加藤 肇、木村 剛、倉田 洋、小々馬 敦、齊藤 聡、齊藤 弘通、佐藤 義博、杉田 一真、高原 純一、武内 千草、田中 彰夫、都留 信行、豊田 雄彦、中島 智人、外尾 秀人、穂積 良浩、前村 真一、松尾 尚、水島 章広、光定 洋介、横井 真人 | | 配当期 | 後 |
| | | 授業方法 | 講義/ライブ |
| 授業の内容 | | | |
| [授業の概要] この科目は、学生が自身の目的に沿った幅広いメニューから、自分の卒業後の進路と目的に応じて必要なものを選択して取り組むことができる。また、指定された項目に該当する活動の実績とその成果報告などの作成も行う。これらの取り組みや成果報告などによって、単位を認定する科目となる。 学内で開講される複数の「社会人準備講座」の受講、企業での研修、社会での様々な実践的活動、内定先企業の研究、職業に必要なスキルの修得、自分の強み・弱みを意識した自主的な学習、課題研究などから、指定された項目と自分が選択した項目を実践し、その活動実績と成果を報告する。 | | | |
| この科目の到達目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人としての教養を備え、職業人としての自立を目指すことができる。 ・ ビジネスの現場の雰囲気や考え方に触れ、職業生活へのスムーズな移行・適応を志向することができる。 ・ 就業意欲を高め、組織への帰属意識と貢献する意志を持つことができる。 ・ 自己のキャリア形成に主体的に取り組み、実現に向けて努力をすることができる。 | | | |
| 成績評価の方法 | | | |
| 出席、活動実績、報告書により総合的に評価する。プログラムの参加(時間数)、活動実績により、単位を認定する。 | | | |
| 週 | 授業項目 | | |
| 第1週 ガイダンス | 第1週目のガイダンスにおいて、この科目の目的、概要、進め方、単位認定方法、スケジュールについて理解する。この科目の内容を受けて各自が実施する活動内容を検討する。 | | |
| 第2～13週 | 計画書、報告書作成に関する事前確認を行う。 各自の活動計画書を作成しアカデミックアドバイザーに提出する。 事前達成項目を記述する。 | | |
| | 「社会人準備講座」や「コンテンツビジネス研究所主催公開講座」など提供された各種のプログラムへの受講予定を立て、これに参加する。 授業支援、就職支援、学内活動、社会活動、企業研修、海外研修、資格受検、テーマ研究などの実施計画を立て、実行する。 | | |
| | 各自の設定した課題や選択した活動に関するプログラムを実践していく。必要に応じて、計画されたプログラムの見直し・修正、課題の再設定を行う。また各課題や活動が終わった時点で事後の振り返りを行う。 | | |
| 第14週 | 「就業力プログラム活動記録簿」を作成する。定められた日程までに、アカデミックアドバイザーあてに同活動記録簿を提出する。 | | |
| | まとめ：全活動実績、成果の報告 最終回の授業において、教員からの最終必要項目説明を聞き、アカデミックアドバイザーへの「活動記録簿」最終提出版を確認する。 | | |